

「本」とのふれあいを楽しみに 第22回 図書館まつり



7月27日、市民図書館で「図書館まつり」が開催されました。小学生2名による一日図書館員としての体験や図書館ボランティア「たんぽぽ」による読み聞かせに、中学生7名がボランティアとして参加しました。人形劇やアニメ上映会、本の交換市、図書館クイズなど、1日を通して大いに盛り上がりを見せました。

講談で知ろう～成年後見制度 バトン権利擁護支援フォーラム in つくみ

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
バトン権利擁護支援フォーラム in つくみ



「平成30年度第1回バトン権利擁護支援フォーラムinつくみ」が開催されました。講談師の神田織音氏を招き、障がいのある子どもを持つ親が、親亡き後に子どもに寄り添って支援してもらうために成年後見制度を活用するという話などをいただきました。

親子で全国大会へ 少林寺拳法 福川凡司郎・海都選手



6月に開催された「第50回少林寺拳法大分県大会」で組演武の親子の部で「優秀」の成績を収めた、金剛禅総本山少林寺 津久見南道院の福川凡司郎選手と海都選手が10月に開催される全国大会へ出場するため、市長に県大会の報告と全国大会に向けての抱負を述べました。

第16回 子ども市議会



8月2日、市役所議場にて市内小学校の児童9人が議員や議長となり、住みよい町づくりについて、市に対して質問や意見を述べる「第16回子ども市議会」が開催されました。

市民図書館の利用の増加や公共施設・公共機関のバリアフリー化、中学校への通学路、災害に負けない力強い街づくりなどについて、自分が考えた質問や意見を1人ひとりが感じた思いを、発言していました。

答弁する市長も質問や意見に対し真摯に向き合いながら発言し、本議会さながらの緊張感のある場となりました。



子どもたちにとって、津久見市の問題について考え、自ら発言することで、町づくりについての関心を持つことのできた貴重な体験になったと思います。

初ユニフォームをお披露目 津久見女子ジュニアソフトボールクラブ



7月25日、津久見女子ジュニアソフトボールクラブがクラブ初のユニフォームをお披露目するため、市役所に訪れました。今回は、市のまちづくり推進事業の補助金を活用し、ユニフォームをそろえることができたことを市長にお礼も兼ねて報告しました。

九州大会へ出場 市内の中学生3選手



7月に開催された「大分県中学総合体育大会」で上位の成績を収めた、水泳競技の若林優一選手、体操競技の立川星璃選手、バドミントン競技の松本柚希選手の3名の選手が大会前に市役所を訪れ、市長に抱負を述べるとともに、8月に開催された九州大会へ出場しました。

つくみんウォーターパーク



8月11・12日の2日間、つくみん公園がウォーターパークに変わって、普段と違った形で遊べるイベントが開催されました。今年で、2回目を迎えたこのイベントは、普段は滑り台だった遊具や草スキーで遊べる場所がウォータースライダーになったり、大きなプールや幼児用プールで水遊びしたりと、子どもから大人まで、多くの人を楽しんでいました。また、野菜や手作り雑貨が出店する「しっくいマルシェ」も同時開催され、両日とも賑わいを見せていました。



夜店とスポーツ観戦・つくみ乾杯大会



8月18日、つくみん公園で、プロサッカーチームの「大分トリニータ」をみんなで応援しようとパブリックビューイングが開催されました。試合が始まると、みんなで試合を楽しんでおり、得点チャンスには、大きな声があがるなど、大勢の人で盛り上がりました。また、津久見の商店街の人たちを中心とした「夜店」が多数出店し、津久見の夜市を思い出すような懐かしさを感じることができました。あわせて、「つくみ乾杯大会」も同時開催され、飲み物を片手にみんなで乾杯し、夜にはつくみのまちに足を運んでいる人を多く見かけました。

社会人や大学の野球チームが集結 大分県南部地域野球交流戦



8月14日から16日にかけて、全国から、社会人や大学の野球チームが参戦する「大分県南部地域野球交流戦」が津久見市で開催されました。普段はなかなか観ることのできない社会人や大学の野球チームの交流試合を一目見ようと、たくさんの方々が試合を観戦していました。

輝く海を横目に 高浜夏祭り



7月28・29日の2日間「高浜夏祭り」が行われました。今年は、台風が接近していた影響で祭りの見どころであるお神輿が海に飛び込む姿は、見ることはできませんでしたが、地元の方をはじめ、たくさんの方がお祭りに来ており、獅子舞に頭を噛まれて、厄払いをしてもらうなど、盛り上がりを見せました。



TOPICS

ようこそ津久見市へ ガブリエラ・ジョセフさん



新しく外国語指導助手として津久見市へ派遣された、ガブリエラ・ジョセフさん(アメリカ出身)が市役所へあいさつに訪れました。「津久見での生活を楽しみにしています」とのことで、9月から主に市内の小学校で、英語の指導を行います。

九州大会出場 体操競技 高橋暁人選手



7月に開催された「大分県小学生体操大会兼九州大会県予選」で個人総合第5位の成績を取めた、佐伯ジュニア体操クラブの高橋暁人選手(千怒小5年)が佐賀県で開催される九州大会への出場を前に市役所を訪れ、県大会での報告と九州大会に向けての抱負を述べました。

100歳のお祝い

小町ツタノさん(8月3日生)



「今が一番、幸せ」と語ってくれた四浦の久保泊出身のツタノさんは、現在「白梅荘」に入所しています。夫とともに地域のいろんな役を引き受けながら、5人の子どもを育てました。長寿の秘訣は、よく食べ、体を動かすことで施設の運動会では、元気な顔を見せてくれました。いつまでもお元気で。

堅徳小学校 なかよし班・6年生、第二中学校生徒会 大分県教育奨励賞受賞



8月、大分県教育奨励表彰があり、津久見市から堅徳小学校 なかよし班と6年生、第二中学校生徒会の3団体が受賞しました。大分県教育奨励賞は、学校現場の第一線で成果を挙げている教職員や児童生徒、地域の方々等の活動を積極的に奨励することにより、県全体の教育の発展に資することを目的としています。8月9日に第二中学校生徒会から2名が、21日に堅徳小学校の6年生9名が、教育委員会を訪れ、受賞の報告を行いました。

防災功労者感謝状贈呈 神田勝之さん、巽保宣さん



防災に対する功労者の功績を称える大分県の取り組みとして、四浦第5区長の神田勝之さんと前福良区長の巽保宣さんに対し、県知事から感謝状が贈呈されました。お二人は、今年の台風第18号災害時に避難者の安全確保を行い、人的被害を防止したことなど、積極的な防災活動を行いました。

津久見の花火を楽しんでもらうために



市役所職員友愛会



津久見ライオンズクラブ

「津久見ライオンズクラブ」と「市役所職員友愛会」から、7月14・15日に行われたつくみ港まつりで、直営店を運営した売上金を「港まつり実行委員会花火部」に寄付していただきました。

来年もみなさんに津久見の花火を楽しんでもいただけるよう、大切に活用させていただきます。ありがとうございました。

ふるさと・津久見のCMが放送されます けんしんテレビCM試写会



大分県信用組合が津久見市のふるさとCMを作成し、その完成試写会を市役所で開きました。この取り組みは、「津久見市と大分県信用組合との包括連携協定」に基づいて行われたもので、津久見の景観や魅力が集まった心温まるCMとなっており、各局で約1年間放映される予定です。

※市ホームページ内「取材日誌」、市公式フェイスブックにて、掲載できなかった写真や記事をご覧ください。